

若い世代を林業界へ誘おう！ ～気仙地方林業職場体験会について～

1 次代を担う人材の確保について

気仙地域は、豊かな森林資源を持ち、地域の主要樹種であるスギを中心に、盛んに素材生産活動が行われています。

一方、林業事業体では、熟練の技能者が退職した後に備え、いかに次代を担う人材の確保及び育成を行うかが課題となっています。

そのため、気仙地方の林業・木材産業の事業者等で構成する「気仙地方林業振興協議会」において、林業・木材産業担い手確保対策の一環として林業職場体験会を開催したので、概要を紹介します。

2 林業職場体験会の概要

- (1) 実施日：令和2年10月12日（月）
- (2) 場所：大船渡市赤崎町地内の間伐団地
- (3) 参加者：大船渡東高等学校
農芸科学科 1年生21名
- (4) 体験受入事業体：気仙地方森林組合
- (5) 体験会内容

ア チェーンソー伐倒見学

チェーンソー作業において、安全に狙った方向に伐倒する技術の説明と実演

イ 林業用機械操作体験（重機操作）

ハーベスタ、グラップル、フォワーダの3種類の機械について、玉切りと集積、材の移動と積込み、走行と荷台の操作

ウ 測量体験

レーザー測量器を用いた作業道の測量

(6) 参加者の感想等

体験会終了後に感想を聞くと、林業という分野に興味を持ったのは、参加者の約半数となりました。

また、3人の生徒から「今回の体験受入事業体が、将来入りたい職場の候補となった」という、うれしい感想がありました。

3 今後に向けて

今回は、1人1種類10分程度の体験であったため「他の機械にも乗ってみたかった」、「もっと操作してみたかった」という生徒もおり、体験人数に応じた時間の確保、他の体験と合わせた効率的な時間配分が今後の課題となりました。

先生からは、「高校生が自ら将来の職業を考える機会として、とてもありがたい取組であり、次回も開催していただき、学生を参加させたい」とのお話しを受けました。

当センターでは、今後も林業振興協議会と連携して、次世代の人材の確保、地元で働く若者の定着につながる取組を継続していきたいと考えています。



グラップルで積込み、フォワーダで運搬